

平成 27 年度の主な取組みについて

(※平成 27 年度の数値については全て 10 月末現在)

I 安全・安心・納得の医療提供

1 医療情報提供、医療相談体制の充実

- ①広報機能強化による本院の治療の特長、症例数、手術件数等の診療情報の提供の充実
- ②総合診療外来による総合的視点から患者に応じた診療の実施
 - ・高齢化に伴う複雑かつ多岐にわたる疾病に対応するため、総合的視点から患者に応じた診療を行う体制整備（必要に応じて専門診療科に受診）
 - ※H26.10より開設…H26：16件 H27：12件
- ③包括的がん医療センター事業の一環としてのがん相談支援センター、看護専門外来の実施及び体制強化
 - ※がん相談支援センター…H26 180件 H27 64件
 - …がん相談専門員の育成(H27：1名 H28：1名予定)
 - ※看護専門外来…H26 911件 H27 416件

2 信頼される病院づくり

- ①医療安全体制の維持・強化
 - ・医療安全委員会、医療安全管理室を核として「医療事故防止対策マニュアル」に基づく医療安全の徹底と医療安全活動の継続実施
- ②医療関連感染制御の取組みの推進
 - ・感染対策部会、感染防止対策チーム等の体制を核として「感染防止対策マニュアル」に基づく感染防止の徹底と職員への感染管理教育の継続実施
 - ※平成 26 年度に引き続き、全職員は 2 回以上研修に出席することを義務付け

3 医療スタッフの確保・資質向上

- ①医師の確保
 - ・関連大学附属病院医局に対する医師派遣要請
- ②臨床研修医の確保
 - ・医学生向けの病院説明会（レジナビ）に参加
東京会場、金沢会場（予定）
 - ・医学生の実習（4～6月）や見学会の受け入れ（随時）
 - ※実習 H26：11人 H27：7人 見学会 H26：8人 H27：7人
- ③医師の負担軽減による診療充実
 - ・医師事務作業補助者の試験的配置(内科外来)
- ④看護師・医療技術者の確保
- ⑤職員の資質向上・キャリアアップ支援
 - ・看護師育成事業
 - a 認定看護師の育成 認定看護師教育課程 1名受講〈がん化学療法〉

b 認定看護師の資格更新に係る負担金等の支援

9 名<緩和ケア 2 名、皮膚排泄ケア、がん化学療法看護、**感染管理 2 名**、乳がん看護、
がん放射線療法看護、認知症>

・検査技師等医療技術者育成事業

a 細胞検査士(1 名)、認定輸血検査技師 (1 名)

b 放射線治療専門技術認定資格取得に向けた取組み (4 名)

・フォートウェン市パークビュー病院との医療交流

※10/26～30 医師 1 名、研修医 1 名、認定看護師 1 名、薬剤師 1 名派遣

がん医療をテーマに実施

II 地域に根差した医療の提供

かかりつけ医や地域の医療機関等との機能分担を推進し、紹介による急性期患者の早期受入れや急性期を脱した患者の開業医や介護老人施設等への逆紹介を積極的に取組み、病病連携、病診連携を強化し地域完結型医療を目指す。

1 紹介・逆紹介の推進

2 病病・病診連携の強化

3 地域連携クリニカルパスの推進

4 地域支援機能の充実

5 専門外来の充実

6 予防医療の推進

①「れんけいネット」の活用の推進

※カルテ参照件数…H26：164 件 H27：135 件

②**症例検討会の充実**

※毎月第 3 水曜日を基本に開催 本院医師は基本的に参加し、開業医との顔のみえる連携を図る。H27 開催回数 6 回 参加者数 開業医等 41 人 本院医師 144 人

③健康講演会、出前講座の開催

※健康講演会…1 回、出前講座…H26：32 回 H27：28 回

④戦略的な広報活動の充実

・高岡市民病院だよりの発行 (3 回予定：4 月、11 月、1 月)

・開業医訪問(5 月～：10 月現在で 67 件訪問)

・医療連携懇話会の開催

※(7/16：本院医師による糖尿病診療・下肢静脈瘤治療に関する紹介、
金沢大学脳神経外科教授による脳神経外科医療に関する講演)

⑤**逆紹介推進プロジェクトチームの設置及び逆紹介推進に向けた施策の検討**

・新規入院患者 (特に予定入院) の確保のためには紹介患者の増加が必須であることから、紹介患者増加対策として、逆紹介推進により逆紹介率を向上させる。

Ⅲ 急性期・高度医療の充実

自治体病院として、政策的医療(救急、精神、結核、感染症)に引き続き取り組むとともに、高岡医療圏の中核病院として、高度先進医療、急性期医療の強化に努める。

- 1 急性期救急医療の充実
- 2 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化
- 3 5 疾病への対策強化
- 4 感染症等に関する取組みの推進

①チーム医療のさらなる強化

① **リハビリ部門の強化によるがん患者リハビリテーションの積極的な実施**

※H27.9より取得 H27.10末現在 221件実施

① **チーム制の導入による薬剤指導の強化**

※1ヶ月平均 H26:478件 H27:671件

② **4:1看護体制の実施等集中治療部門の強化(ハイケア・ユニット入院管理料の取得)**

※H26.12より

③ **包括的がん医療センターを中心としたがん医療の充実**

・包括的がん医療センター運営会議の実施等がん医療の一元化に向けた取り組みの推進

・① **遺伝性乳がん・卵巣がんカウンセリング外来の設置**

※H27.7に遺伝性乳がん・卵巣がん症候群(HBOC)鑑別のための専門外来を開設

・① **緩和ケア病棟の設置による緩和ケアのさらなる充実(後掲)**

④ **① 緩和ケア病棟の設置(20床 旧4階東病棟)**

※現在改修工事中 H28.3稼働予定

⑤ **① 外来機能の強化(外来化学療法室拡充等 3階西病棟⇒外来化)**

※現在実施設計中 H28年度に工事予定

Ⅳ 経営の安定

政策医療や高度先進医療等を安定的かつ継続的に提供していくために、自律性の高い健全経営に努める。

- 1 経営の安定に向けた職員の意識醸成
- 2 医業収益の確保
- 3 適正な職員配置と人的資源の活用
- 4 病院施設の改修・医療機器の更新
- 5 修繕計画の策定
- 6 薬品・診療材料の効率的運用と費用の削減
- 7 情報化の推進
- 8 一般会計繰入金の適正化の維持

- ①病院外部委員による経営懇話会の定期開催
- ②**①**診療情報と経営データを統合した経営分析による、課題の洗い出しと対策の検討
 - ※診療科ヒアリングの実施及び診療科別実入院患者の指標値の設定
 - ※指標値と実績に関する、運営連絡会での振り返り
- ③ジェネリック医薬品の採用促進による薬品費の抑制
 - ※国（厚生労働省）では、平成 30 年度から 32 年度の早い時期に数量ベースシェアで 80%を目標としている。⇒**①**本院でも数量ベースで 80%を目標に取り組む
 - ※H27.10 現在 71.99%
- ④**①**給食調理部門の民間委託化に向けた取り組み
 - ※H27.9 月議会において 3 か年の債務負担行為設定
 - ※プロポーザル方式での業者選定
- ⑤修繕計画の見直し等経費節減に向けた取り組み